



SSU NEWS

SSU
SHIZUOKA
SANGYO
UNIVERSITY

静岡産業大学 <http://www.ssu.ac.jp>

■経営学部 磐田キャンパス / 〒438-0043 静岡県磐田市大原1572-1

■情報学部 藤枝キャンパス / 〒426-8668 静岡県藤枝市駿河台4-1-1

発行者 / SSUニュース編集委員会 TEL054-647-0362 koho@ssu.ac.jp

社会とつながる実践教育を推進

- ★特集 さまざまな分野で活躍する学生
- ★保健体育教員採用試験 初の合格者
- ★応用心理学研究センター、アジアビジネス研究センター新設
- ★大学祭2010 今年のみどころ



スポーツ経営学科 静岡県教員採用試験(保健体育)初の合格者!!
(第一次試験8名・第二次試験4名合格)

Congratulations!

さまざまな分野で活躍する学生

トランポリン部 全日本大学団体女子

日本一!!

平成22年8月27日～8月29日に「第45回全日本学生トランポリン競技選手権大会」が金沢市のいしかわ総合スポーツセンターにて行われました。

この大会はトランポリンの学生日本一を決める大会で、団体競技、個人競技、シンクロ競技、大学対抗戦と各競技男女の順位が争われました。そして、その中のメインとなる団体競技女子において本学トランポリン部が初出場、初優勝という快挙を成し遂げました。

団体競技は選手3～4名でチーム登録をし、そのうち上位3名の個人競技における得点（予選時）の合計点により順位が決定します。一年生の入部で人数が揃い、初めてチーム登録が出来た本学のトランポリン部。犬居菜穂子さん（経営学部3年）、山下はるなさん（経営学部2年）、板井真紀子さん（経営学部1年）、蔵田岬さん（情報学部1年）らは各自の持っている力を発揮し、阪南大学、金沢学院大学、日本体育大学など伝統のある強豪校と競り合い2位の阪南大学を0.3差でかわし、優勝することができました。

また、本学エースでW杯日本代表の山下さんは個人競技での優勝を目指し予選に挑み見事1位通過を果たしましたが、決勝で惜しくも順位を落とし準優勝。金沢学院大学二木選手とペアを組んで挑んだシンクロ競技でも準優勝となり、目標の3冠とはなりませんでした。素晴らしい成績を残しました。



初出場で全国Vを川勝知事に報告する選手ら

主な成績は以下の通り

団体競技女子	優勝	静岡産業大学	175.800
		犬居菜穂子・山下はるな・板井真紀子・蔵田岬	
	2位	阪南大学	175.500
	3位	金沢学院大学	167.100
	4位	日本体育大学	144.000

個人競技女子	2位	山下はるな（予選1位）
	10位	蔵田岬（予選9位）

シンクロナイズド競技女子

2位	山下はるな（静岡産業大）／ 二木美香（金沢学院大）（予選2位）
5位	蔵田岬（静岡産業大）／ 高山里沙（金沢学院大）（予選6位）

大学対抗戦女子	2位	静岡産業大学
---------	----	--------



左より：板井さん、蔵田さん、犬居さん、山下さん

Student Spotlight

蔵田 岬さん（情報学部1年）

トランポリンはいつから始めましたか？

小学校1年から始めました。高校2年の時大けがをして、普通の生活をするのが精一杯と医者に告げられ、一時はトランポリンを諦めたこともあります。必死のリハビリの末、高校3年の終わりには練習参加ができるまでに回復しました。そして、もう一度トランポリン競技をやりたいという気持ちで、トランポリン部の強化を始めた産大への進学を決めました。

トランポリン部で唯一、情報学部にも所属しているそうですが…

将来、メディア関連の仕事に就きたいので情報学部を選択しました。CG、アニメーション、サウンドなどの知識や技能を学んでいます。トランポリン部の活動拠点が磐田のため、藤枝キャンパスまで1時間半の通学になりますが、自分の学びたいカリキュラムがあるので苦にはなりません。電車では様々なジャンルの本を読み見聞を広めています。

今後の目標を聞かせてください。

学習ではクリエイティブデザインコースを選択し、カラーコーディネーター、色彩能力検定の資格取得に挑戦し就職活動に生かしたいです。トランポリンでは12月の全日本選手権で日本一を取ること、ナショナルチームの山下はるなさんをお手本として少しでも近づけるようにしていきたいです。



金メダル獲得 2010インド・パシフィックトランポリン 競技選手権大会

6月29日～7月3日に2010年インド・パシフィックトランポリン競技選手権大会が掛川市東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」にて行われました。この大会はインド洋、太平洋沿岸の各国が参加する国際大会で、4月に行われた選考会により本学から3名が日本代表として出場し、タンブリング競技OPEN男子に出場した杉浦祥太郎さん（経営学部1年）が見事金メダルを獲得しました。

タンブリング競技は長さ25メートルのバーンと呼ばれる床板で、8種目の技を連続して行う競技でトランポリン競技に属します。体操の床演技に似ていますが、体操のフロアよりも反発性が高い器具を使用しているため、より難易度の高い技に挑戦することが可能です。スタートから着地までの約10秒間で繰り広げられるダイナミックな演技はとても見応えがあります。

杉浦さんは「金メダル獲得はできたものの自分の力不足を実感できた大会でもありました。今後、持ち技を増やし、難度も上げていくような練習を重ね、今年度の全日本選手権、来年の世界選手権を目指したいです。」と意気込みを語ってくれました。



世界大会でジャンプ! トランポリンW杯ロシア大会で銀メダル獲得

ロシア・アストラハンで9月16日～18日に開催されたトランポリンW杯ロシア大会で、山下はるなさん（経営学部2年）が岸綾乃選手（小松大谷高校）と組んだ女子シンクロ競技にて銀メダルを獲得しました。山下さんは同大会の個人競技でも7位に付け、続いて23日～25日にポルトガル・ロウレで行われた同ポルトガル大会でも女子シンクロナイズド7位という好成績を残しました。

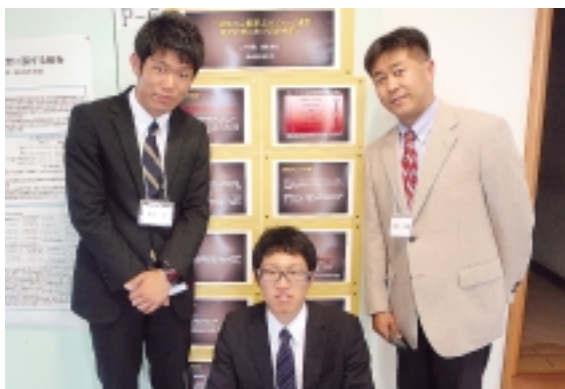
トランポリン競技は10回連続の跳躍の間にひねりを加えた宙返りなど10種目の技を織り交ぜ、①安定した高さ、②フォームの美しさ、③移動(トラベリング)しない安定さ、の観点から採点されます。山下さんは現在ナショナルチームに登録されていますが、今年三つの国際大会に出場したことで、来年のナショナルチーム選抜に向けて大きく前進しました。



学会で研究成果を発表 第17回日本運動・スポーツ学会でデビュー

経営学部スポーツ経営学科4年 大澤 登さん

6月19日、東京の武蔵野市で行われた日本・運動スポーツ科学学会に参加してきました。これはゼミの指導教諭である窪田先生に、これまでの研究内容を発表してみないかと機会をいただいたのがきっかけでした。会場では40～50人ほどの大学の先生や研究者の方々が、運動に関するさまざまな研究に耳を傾けていました。私は、運動によってもたらされる感情の変化について研究したものを、ポスターのようにして掲示し、内容に興味を持ってくださる研究者の方と1時間ほど意見交換をさせていただきました。質問への対応などを通し、自分の知識や話す力の未熟さを感じつつ、違う視点からの助言をたくさんいただき、今後の研究に活かしたいと強く思いました。発表までの準備も大変でしたが、卒業論文につながる良い経験になりました。



左端：大澤さん

産学連携プロジェクト 地元スーパーを彩る学生デザイン

情報学部情報デザイン学科4年 村松 佑紀さん

スーパー田子重・田沼店の新規オープンにあたり、本学に鮮魚コーナーの装飾デザインの依頼が来ました。ちょうど卒業研究で魚の絵本を制作していたので、先生が僕を推薦してくださいました。僕にとっては研究の勉強にもなるので、迷わず引き受けました。

デザインには藤枝の四季を表す要素を盛り込み、春夏秋冬の魚がそれぞれの季節の行事を楽しんでいる様子を表現しました。すべて切り絵で制作したのですが、切り絵という技法にマッチするように魚の形をデフォルメしつつ、魚の種類の微妙な違いを表現することに少し苦心しました。

スーパーのような場所で不特定多数の方に見ていただける作品をつくったことは初めてでしたので、非常に緊張しました。しかし一方で、大きなやりがいも感じました。

打ち合わせで田子重さんのご意見を直接伺ったり、お店のオープンの間に合うように制作することなど貴重な経験ばかりで、とても勉強になりました。



地域の活性化に一役 学生と商店街がコラボ

情報学部情報デザイン学科4年 三輪 勇人さん

藤枝商店街プロジェクトの第三弾として商店街を紹介する「こだわり街道」冊子を制作しました。制作するにあたり企画、取材、撮影、編集などほぼ全般を15名の学生で担当しました。



前列中央：三輪さん

一年程かかったこのプロジェクトでは大変な苦勞をしました。お店の紹介文は小さな枠にわかりやすく、かつ魅力的な情報を載せなければいけない、取材も日程が合わない、撮影は撮り直しが何回もありました。でもだからこそ冊子が完成してそれがテレビや新聞に載った時には嬉しくてたまりませんでした。



この経験を通して私は「自信」を得る事が出来ました。冊子が完成した時、商店街の方々はとても喜んでくれました。それを見た時自分の中に、「人を喜ばせる物を作った」という自信が生まれました。今後、就職してからもこの経験を忘れずにどこかで生かせればいいなと思っています。

実行委員長に聞く今年の **みどころ**



蒼樹祭実行委員長
西田 紗弥さん
(経営学部3年)

今回、大学祭実行委員長を務めさせていただきます、経営学部3年の西田紗弥です。

私がこの大学に入学して3度目の大学祭です。今年は、大学祭実行委員長という大役を任せてもらうということで不安もありますが、楽しみなこともたくさんあります。

今まで先輩たちが築き上げた大学祭への思いを引き継ぎつつ自分らしさをだし、一味違った『第17回蒼樹祭』になるよう大学祭実行委員一同一丸となって頑張りたいと思います。是非御来場下さい!!

★来場者へ一足早いクリスマス

今年の大学祭のテーマは、「あわてんぼうのクリスマス」です。クリスマスは、1年に1回の特別なイベントです。子どもたちはもちろん、家族や恋人、多くの人がクリスマスを楽しみにしています。本来、クリスマスは12月25日にあるイベントですが、一足早く来ていただいた皆様に私たちがたくさんの夢やプレゼントを届けたいと思っています。そして、大学祭実行委員だけでなく、ステージ企画や模擬店に参加していただく方々と一体になって蒼樹祭を盛り上げていきたいと思っています。そして、ご来場していただいた皆様が去年よりさらに楽しめるような企画を考えています。ぜひ、遊びに来てください☆

開催情報 模擬店出店者募集しています。サークル仲間やゼミナール仲間、友達同士などでぜひ参加してください!!ステージ企画への参加をお願いします。詳細は、企画が決まり次第お知らせします。

■開催日：2010年11月13日(土)～14日(日)
■時 間：開場 10:00
 フィナーレ 17:00～(14日は17:10～)
■開催地：静岡産業大学 磐田キャンパス
■問合せ：0538-37-3852



**お笑いライブ
2010**

**経営
学部**

サンドウィッチマン
11月14日(日)
開場 13:00～

**情報
学部**

小島よしお・三拍子
11月21日(日) 開場 12:30～ 開演 13:00～
サイン色紙抽選券配布/9:30～ ※抽選券は限りがあります



鳳翔祭実行委員長
山本 智也さん
(情報学部3年)

こんにちは、「第12回鳳翔祭」の実行委員長を務めさせていただいている山本智也です。学生会では去年から、十年の節目を迎えた「鳳翔祭」を新しくしていこうと、日々会議を繰り返しています。その甲斐もあり、去年から「ミス、ミスター静岡産業大学コンテスト」などの新しいイベントを開催することができました。今年も学生や地域の方の参加を増やすために、多数の企画を考えているので、11月20日、21日はぜひ「第12回鳳翔祭」へお越しください。

★地域交流×学生企画の大学祭

「第12回鳳翔祭」は初めての二日間一般公開を実現しました。二日間開催に伴い、ゼミ店、模擬店の数も増え、今年からは地域の方の模擬店出店もあります。またグラウンドでは、去年同様スポーツ大会に加え、子供たちの遊び場として「ふわふわドーム」を設置することにしました。

毎年好評の「チャリティバザー」も豊富な品ぞろえで二日間開催します。そして体育館ステージでは、去年に引き続き「ミス、ミスター産業大学コンテスト」や「小島よしお、三拍子の爆笑お笑いライブ」、「ビンゴ大会」など各種イベントをご用意していますので、ぜひお越しください。

開催情報

今年の芸人は、小島よしおと三拍子!21日(日)の13:00～体育館を笑いで包んでくれます!また、お子様も楽しめるふわふわドームがグラウンドに登場!そして、2日間かけて産業大学の美男美女を決めるコンテスト、10:30～12:00(午前)14:00～15:30(午後)でチャリティバザーを食堂で開催します。現在、ミスコンに出場してくれる美男美女、体育館ステージで様々なことを叫んでくれる人を募集中!

■開催日：2010年11月20日(土)～21日(日) ■開催地：静岡産業大学藤枝キャンパス
■時 間：開場 10:00 閉場 18:00 ■問合せ：054-645-1102

冠講座に「シャンソン化粧品」、 「いちまる」が新規に開講



本学の冠講座（寄付講座）において、シャンソン化粧品といちまるの講座が今秋より新規に開講しました。冠講座は、企業や各種団体、行政機関の協力によって実現した実践的な講座です。本学では、2001年度に4講座でスタートしましたが、今や両学部合わせて

21の講座となり、質、量とも他大学に類を見ない取り組みとして注目されています。

新規開講の2つの授業では、初回にいずれも社長自らが講義を行いました。いちまるの松村友吉社長は、「中小企業がめざす経営の多角化とは」をメインテーマに、時代の変化に対応し、本業にとらわれず事業の多角化をしていくことが重要であることを、同社グループの事例を踏まえながら強調されました。

一方、シャンソン化粧品の川村修社長は、会社の概要、化粧品の販売方法などを説明した後、学生に対して「若さ程強いものはない。自分の可能性を信じて色々なことにチャレンジして欲しい」とエールをおくっていました。



テクノロジーマシンパーク 第二弾、第三弾



経営学部のテクノロジーマシンパークに新たに展示された寄贈品の除幕式が5月と7月に相次いで行われました。寄贈されたのは（株）ブリヂストンのタイヤの金型「モールド」と浜松ホトニクス（株）の「光電子倍增管」。「モールド」はタイヤの伸縮性と強度を確保するための金型（スチール製）で、同時に溝やロゴなどをつけることができます。寄贈されたのは、かつてブリヂストン久留米工場で小型トラック

のタイヤ成形に使用されていたものです。一方、「光電子倍增管」は超高感度センサーで、2002年10月ノーベル物理学賞を受賞した小柴教授がニュートリノ検出に採用した光センサーとして知られています。身近なところではカラー Scanner などにも内蔵されているそうです。除幕式には、荒川詔四ブリヂストン社長、晝馬明浜松ホトニクス社長も出席し、集まった学生たちに声を掛けてくださいました。また式典で、荒川社長は「先人の知恵や企業のDNAを感じ、学びとる展示品としてほしい」と語り、晝馬社長からは「世界で誰もやったことのないことをやろうという願いが込められた象徴の品。静岡産業大学の精神である『大化け教育』の布石として生かしてほしい」と激励の言葉をいただきました。



経営学部

平成22年度パソコン講座

毎年秋の恒例になった経営学部のパソコン講座。本年度も中級レベルを重点にした4コースを用意いたしました。詳細は経営学部エクステンションセンターまでお問合せください。皆様のご参加をお待ちしております。

◆会場 静岡産業大学 経営学部 コンピュータ演習室

◆対象 社会人・学生

◆内容・日時

Word応用コース

文書の作成、差し込み印刷、表を使った文書、年賀状など。

11/27（土）・12/11（土）13:00～15:00

11/28（日）・12/12（日）9:00～12:00

Excel応用コース

表の作成・演習、グラフの作成、データの集計と分析など。

11/27（土）・12/11（土）15:20～17:20

11/28（日）・12/12（日）13:00～16:00

デジカメコース

デジカメ写真の取りこみと整理、フォトショップによる加工と応用

11/27（土）・12/11（土）13:00～15:00

11/28（日）・12/12（日）9:00～12:00

インターネットコース

ホームページの基礎、トップページ作成、リンクの設定など。

11/27（土）・12/11（土）15:20～17:20

11/28（日）・12/12（日）13:00～16:00

土曜日 120分（休憩1回）/日曜日 180分（休憩2回）/合計 10時間

◆募集人数 各コース 30名 ※申込み多数の場合抽選となります。

◆受講料 3,000円（テキスト代含む）

◆申込期間 11月20日（土）まで

◆受講資格 ①4回全て出席できる方 ②Word、Excel各応用コースは初級程度マスター済みの方とします。

◆申込方法 希望コース、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業を記入の上
①大学HP専用フォームから申込 ②メールから申込 ③FAX、はがきなどで下記へ

◆申込 静岡産業大学 経営学部 エクステンションセンター
問合せ先 パソコン講座係

〒438-0078 磐田市中泉497-1（磐田駅前学舎）

TEL (0538) 37-0161 FAX (0538) 21-0131

Email: k-extension@ssu.ac.jp

※申込・問合せ先と会場（経営学部 磐田キャンパス）が異なりますのでご注意ください。



経営学部 応用心理学研究センター新設

概要

経営学部 三枝 幸文 学部長

経営学部では、今年5月に「応用心理学研究センター」を開設し、ビジネス心理学とスポーツ・健康心理学の両分野に関する研究・教育活動を行っています。そこでは、本年4月に新設された「心理学応用コース」で学ぶ学生諸君のための「カリキュラムの開発」に取り組んでいます。当センターでは、学内及び学外の「心理学」を体系的に学びたい、と思われる方々を対象に、「認定心理士」申請資格をはじめ、「産業カウンセラー」の受験申請資格を得られる科目群、また「カウンセリング教育」を重視した科目群を、来年度4月から配備し、スタートさせる予定です。

この応用心理学研究センターでは、カウンセリング教育重点科目群を履修して、心理学の知識をある一定以上修得し、コミュニケーション能力を身につけた学生を育成し、さらに「心理カウンセラーの養成」を目指します。また、応用心理学研究センターでは、スポーツをする人のメンタルトレーニングも行っています。2012年ロンドンオリンピックへの出場を目指して活動している学生アスリートが、静岡産業大学にはいます。当センターでは、これらの諸君を産業界と連携をとりながら、メンタル面からサポートしていきます。

目的

経営学部講師 藤田 依久子

「自分の生きている意味はどこにあるのか?」「自分はどのようにして生きていくべきか?」これらは、人のアイデンティティに関わる疑問だ。この疑問に対して納得のいく答えはなかなか簡単には見つからない。

自殺者の増加、犯罪の低年齢化、ひきこもり、いじめ、不登校…これらは、最近我々がよく耳にする言葉だ。大人も子供も、人との関わり方に悩んでいるようにみえる。いや、その前に自分自身を理解することが出来ずに悩んでいるのかもしれない。

応用心理学研究センターでは、「人はどう生きるべきか」といった人生論を戦わせる場所ではない。しかし、今この世の中を生きていくために、我々には「人間」を理解する力が求められていることは間違いないだろう。「人間」には、他人だけではなく、自分も含まれる。また、人間の集まりである社会も理解する必要があるだろう。「人間理解」は、生きる意味そのもののものだ。

応用心理学研究センターでは、他人を理解すること、自分を理解すること、社会を理解することを目的にしている。それは、生きることそのもののからだ。応用心理学は、人間理解そのものを研究対象とする学問である。

応用心理学研究センター開設記念 「応用心理学公開講座」開催

地域に開かれた当学に、本年度経営学部「応用心理学研究センター」が開設しました。家族関係・職場の人間関係、ビジネスやスポーツなど、今後様々な分野で応用される「心理学」を毎回各界の専門家により、楽しく分かりやすく講義します。

応用心理学研究センター開設記念 「応用心理学公開講座」

- ◆期日／2010年10月30日(土)～12月11日(土)
- ◆会場／静岡産業大学経営学部 大講義室および5105教室
- ◆対象／社会人・学生
- ◆募集人員／100名
- ◆受講料／第3回を除く全回分3,000円

◆申込期間／9月21日(火)～11月13日(土)まで

◆申込方法／①学部HP専用フォームから申込 ②メールから申込

③申込書をFAX④申込書を郵送または持参

※申込書は学部HPからダウンロードできます。

◆問合せ・申込窓口／

静岡産業大学経営学部 エクステンションセンター 公開講座係

TEL0538-37-0161 FAX0538-21-0131 Email:k-extension@ssu.ac.jp

または 静岡産業大学経営学部学務グループ

TEL0538-37-0191 FAX0538-36-8800 Email:k-kyoumu@ssu.ac.jp

静岡産業大学 応用心理学研究センター開設記念公開講座

現代人の必須 『応用心理学』

心を感じ 心を伝え
人を動かすことの実践

総司会 藤田 依久子 経営学部講師



「こころ」の探求
全7回講義

第1回

10/30

13:15～15:30

[開講式]

変化する社会、つながるココロ

～ ちょっとしたひと言から広げたい人間関係のダイナミズム ～

講師 山浦 一保 立命館大学スポーツ健康科学部准教授 学術博士

第2回

11/6

13:30～15:30

スポーツ選手における『こころ』の育成

～ 人間力の現状とセカンドキャリア ～

ゲスト 八田 茂 社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)

キャリアサポートセンターリーダー

ファシリテーター 淡野 健 学習院大学キャリアセンター

GCDF-Japanキャリアカウンセラー

第3回

11/13

13:30～15:30

[蒼樹祭・無料公開講座]

ココロとカラダに働く嗅覚と触覚の

仕組みとメンタルケア

～ 補完・代替療法の観点から 香りと肌に触れる ～

講師 中村 あづさ 有限会社アロマティーク

代表取締役英国IFPA認定アロマセラピスト

第4回

11/20

13:30～15:30

子どもを虐待してしまう親の心理

～ 虐待予防のために私たちにできること ～

講師 藤田 美枝子 静岡県西部児童相談所所長臨床心理士

[討論] 親子関係の心理学

～ 今、必要とされている子育て支援 ～

講師 川崎 和子 磐田市議会議員

コメンテーター 藤田 美枝子・山田 悟史 経営学部特任講師

第5回

11/27

13:30～15:30

部下のココロをどう癒す?

～ 職場のメンタルヘルス改善とストレスマネジメント ～

自律的行動を促す学びのメカニズム

～ 産業組織心理学はじめての歩 ～

講師 裴 英洙 メディファーム株式会社代表取締役社長医師・医学博士

講師 小林 正宗 メディファーム株式会社取締役副社長

第6回

12/4

13:30～15:30

元気を生み出すフロー理論を

応用スポーツ心理学に学ぶ!

～ すべてが上手くいく 揺らぐととらわれずの心 ～

講師 辻 秀一 エミネックス代表スポーツドクター・産業医

第7回

12/11

13:30～15:45

[パネルディスカッション]

磐田から発信未来を開く実践心理学

～ 心が変わる 社会が変わる 応用心理学 ～

司会 大坪 檀 学長

ゲストパネリスト 梶川 隆 ヤマハ発動機株式会社顧問

パネリスト 柯 麗華 経営学部准教授・金 炯中 経営学部講師

情報学部 アジアビジネス研究センター新設

概要

情報学部 川口 順功 学部長

情報学部では、これまで静岡の産業と関係が深いアジアを世界の一大生産拠点として注目し、アジアビジネスコースを設置するなど、成長著しいアジアマーケットにおいて活躍できる人材育成を行ってきました。

近年、アジアは、ますます世界の大きな消費市場となり、世界経済の成長の中心になりつつあります。このことは、静岡をはじめとした地域ビジネスにも大きな影響を与えており、グローバルな視点での地域活性化には、アジアにおけるマーケットに関する動向の把握、情報の集積・分析など、アジアにおけるビジネスの研究が必要不可欠となっています。

そこで、本学部では「アジアビジネス研究センター」を設立し、今年度開設予定の「地域学（しずおか学）研究センター」と連携しながら、アジアビジネスと地域活性化に関する研究および教育を行ってまいります。

◆活動内容

- ①アジアビジネスに関する研究・教育
- ②地域学に関する研究・教育
- ③日本・アジア文化に関する研究・教育
- ④関連するシンポジウム・研究会の開催
- ⑤関連する学外・学内イベント等の開催
- ⑥産学官連携活動の企画・立案・実施
- ⑦関連する学部コース教育内容の検討

◆組織

センター長：田畑和彦（本学教授）
研究員：田口敏行（本学教授）
研究員：中村羊一郎（本学部教授）
研究員：小谷内郁宏（本学部教授）
客員研究員：陳端端（アモイ大学教授、外文学院副院長）

◆学部におけるアジアビジネス・地域学教育

（1）目的

- ①アジアビジネスに関する基礎・専門の知識と技能の習得
- ②地域学に関する基礎・専門の知識と技能の習得
- ③日本・アジア文化の理解に基づく異文化対応能力の育成
- ④グローバル社会で必要となる言語の育成

（2）特徴

- ①実践的教育の実施
- ②徹底した語学教育によるコミュニケーション能力の育成
- ③異文化対応能力の育成
- ④情報リテラシー能力の育成
- ⑤シンポジウム・研究会への積極的な参加
- ⑥地域との連携

（3）具体的な方法

- ①コア科目の設置
- ②冠講座の活用
- ③実務家による教育
- ④研究コラボレーションの推進
- ⑤産学官連携の推進
- ⑥留学制度の設置
- ⑦O-CHA学研究センターとの連携

アジアビジネス研究センター開設記念シンポジウム アジア主要大学の学者が提言する「アジアビジネスで成功する方法」

アジアビジネス研究センター開設記念として10月9日にホテルセンチュリー静岡にて行われた本学主催（県、大学ネットワーク静岡、県日中友好協議会共催）の大学ネットワーク・科学技術フォーラム『アジアビジネスで成功する方法～アジアマーケットの現在を追う～』に県内の企業や各種団体の関係者ら100名以上が参加しました。

基調講演では廈門大学（中国）の胡衛傑客員教授が『香港ビジネスの現在』をテーマに、続く特別講演では本学経営学部の金炯中講師が『アジアビジネスの成功要因』と題して、それぞれアジアマーケットの現状を説明しました。その中で金講師は、実際にアジアでの商品展開に成功した日韓企業の事例を挙げながら、「アジア進出には、現地のニーズに合わせて商品をどれだけ適応化させていくかがポイント。消費者要因と文化的要因をそれぞれ考慮し、戦略的・組織的戦略を立てることが重要。」と述べ、アジアビジネスで成功するための秘訣を語りました。

講演のあとには、浙江大学（中国）産業経済研究所の馬良華副所長をはじめ、胡氏、名城大学（沖縄）の嘉数理事長、静岡県立大学の尹大栄准教授、静岡文化芸術大学の齋藤講師らによるパネルディスカッション行われました。馬氏が「世界一のマーケットを持つ中国は、これから20年かけて更に発展していく。今後の中国の経済成長がアジア諸国にも大きな影響を与える。」と自らの考察を述べると、嘉数氏が「あと数年でフィリピンやベトナムは日本の人口を上回る。従って、今後の鍵を握るのはフィリピンではないか。」と推測するなど論議が交わされ、白熱したディスカッションが90分に亘り繰り広げられました。参加者からも「非常に勉強になった。このようなシンポジウムを今後も積極的に開いて欲しい。」との声が上がっていました。



学部 TOPICS 『静岡観光研究所』を新設

富士山静岡空港の開港にともない、海外を含む、より広範囲からの観光客を県内に受け入れる態勢を整えることが静岡県でも急務となりました。しかし、静岡県には通訳案内士や地域限定通訳士のための網羅的なガイドテキストがなく、正確に県内の観光情報を提供できていない現状があります。

そこでこのたび、情報学部に『静岡観光研究所』を新設し、大学の所有する地域観光や情報発信に必要な情報デザインに関するノウハウを活用した、ガイドテキスト（通訳案内マニュアル）を作成する計画を立案しました。この計画は静岡県緊急雇用・重点分野創出プランに応募した結果、採用され、「静岡観光促進事業『通訳案内マニュアル作成』」として本学に受託されました。

研究所事務局は情報棟3階に設置され、専従職員4名、現地調査員（通訳案内士）6名、協力教員11名が『通訳案内マニュアル』作成を進めています。完成したマニュアルはCD-ROMとして発行され、静岡県観光局、および県下の通訳案内士など観光事業に携わる関係各者に配布される予定です。



厳しい就職状況にどう立ち向かうか 就活のことを親子で話していますか？

就職支援課長 宮部 勉

国内消費が低迷し内需が拡大せず、円高によって輸出産業が停滞する中、雇用環境もまた改善の契機をつかめないまま、大学新卒は内定獲得に昨年以上の苦戦を強いられています。もっとも、企業は優秀な人材（企業業績を伸ばせる人材、将来性ある人材）を求めていることには変わりなく、これに応え得る産業人としての資質向上が求められます。



親の考えと子の思い

雇用環境が改善しない現況に親の胸中にも大きな暗い影をつくっています。かといって就職活動を家族で話し合っている家庭は少ないようです。「子供のやりたいようにやらせたい」という自主性尊重派から、助言したいのだが「子供が干渉を嫌う」ので「言えない」という親までいろいろです。学生は学問を積んできたとはいえ「社会的常識」においてはまだ十分というわけではありません。したがって、適当な距離からの助言は学生の知識を増やし、暗く不明な社会事象を明確にさせ、勇気を与え、家族のありがたみを知ることになります。放任ではなく干渉でもない立場が必ずあるはずです。

それは子供の側に立ち「いつも味方だよ」というメッセージを包含しているものを言います。助言の言葉を聞く態度ができると子供はさらに頑張るでしょう。

「小さい頃からその分野が得意だったね」「その会社って〇〇という製品を出しているね」「世間体など気にせず自分の思ったようにやってみなさい」「企業の規模や知名度だけにとらわれないで自分がどんな仕事をするのが重要だよ」「お前はお前、きっとお前の良さを分かってくれる企業があるよ」「面接の仕方を一緒にやってみないか」

逆に子供の神経を逆なでするメッセージは「〇〇君は決まったのにお前はまだか」「誰も知らないような会社だな」「勉強もせずに合格できるわけないよ」などは最悪で、「もう大人なんだから自分でやんなさい」「〈応募日程も把握せず〉不況に強いから公務員を受けろ」などは子供の思いに添っているとは言えません。

いずれにせよ、家族の支えが子供の気持ちをほぐし、試験でもゆとりと自信を持って臨むことにつながります。子供の相談状況やその他就職活動で不明なことは保護者会への参加や就職支援室に直接来室し相談してください。



盛況だった産大ガイダンス（8月9日）
於 掛川グランドホテル 40社 学生190人参加

就職内定の記録から 見えてくるもの

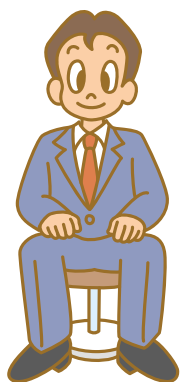
就職が内定した学生の記録を読むと次のようなことがポイントとして浮かび上がってきます。



- ① 常日頃から社会人としての常識や見識を向上させようとしてきた
- ② 面接では積極的に自己営業力（自己アピール）を発揮した

①は筆記試験対策として有効であり、また、教養豊かな話し方、人柄づくりに役立っています。誠実、真面目さに加えて「積極性」が特に近年企業が求める資質となっています。②はそれを意識して日常を過ごしてきた成果でしょう。次に示すのは本年度内定獲得学生の報告書から抜粋したものです。

- 中途半端な気持ちは見破られてしまう。「この業界・この会社」に入りたいという自分なりの理由がなくてはならない。
- 試験や面接で自信があった企業から不合格を貰った時はかなりへこみました。履歴書を何度も見直したり面接対策もやりました。就活では筆記も大切ですが面接はさらに大切だと思いました。
- 就活は絶対早目に開始した方が良い。ガイダンスで志望する企業が出展していれば必ず出向いて「君は〇〇さんだったね」と名前を言ってもらうまでになった。
- 就活は忍耐だと思う。あせらずやっていたら必ず良い結果が付いてくる。



3年生までに 備えるべき就活力

就活に関するテクニック本が発刊され、セミナーもあちこちで開かれています。保護者の心得を説く有料セミナーや就職斡旋を金銭で請け負う会社も現れています。はたして就職に至るテクニックは存在するのでしょうか。答えは「あった」と過去形でしょうか。つまり、3年前はテクニックを見破られていても就活努力の形跡があれば「微笑ましい人物として」大目に見て採ってくれました。残念ながら昨年、今年と企業は

真の人間性を見るようになっていきます。したがって履歴書を「うまく」書いても、面接練習でうわべを取り繕っても人事担当者や役員の目はごまかせません。つまり「テクニック・就活スキル」は有用でなくなったということになります。人物厳選を打ち出している企業は「一般常識的知識と言動」をベースに人物評価を実施し、「能力適性試験」「性格適性試験」「個人面接」「集団面接」「グループ討議」「論作文」を課して、あらゆる角度から人物を見定めようとしています。企業にとっては「利益を生み出す金の卵か」「雇用してみても経費ばかりかかる人材か」を見極めなければ、厳しい不況を乗り切っていけないからです。かといって、採用を手控えていると「利益を生み出す元」がなくなり、やはり良い人材は喉から手が出るほど欲しいというのが現状です。要は前項の①、②を3年生から備えるのではなく、3年生までに身につけておくべきでしょう。

3年生は10月くらいよいよ就職活動に入ります。会社説明会が開始され、採用広報活動（採用活動ではありません）が開始されます。希望する会社のホームページを毎日観察し、説明会があれば「即座」に申し込みましょう。（数日間「満席」と出てしまいます。）無論、各種ガイダンスへは積極的に参加しましょう。

履歴書・自己紹介書は簡単には書きません。何度も下書きをしてやっとできるというのが実情です。よく質問のあるのが「学業以外で頑張ったこと」という欄で記述する材料が見つからないというものがあります。他大学の話ですが、書くことに事欠いて「マージャンで友好関係を構築した」と書いてきた人がいるそうです。友好が遊興では書類選考の段階で不合格の確率が大です。

「エントリーシート」は自己紹介書と同じようなものです。とにかく一度書いてみましょう。そして、先輩である親にも見て貰いましょう。無論、就職支援室はそのための支援を惜しみませんので**何回でも**来室して「自己紹介書」の記述について相談しましょう。



筆記試験対策は緊急にやるべし

多くの大手企業はSPI試験（能力適性、性格適性の両面が試される）を実施しています。この対策は小手先ではだめで、入学時から計画的に実施すべきです。「キャリア系授業」ではこの対策をカリキュラム化していますがより高い能力育成のためには自分でもやってみる事です。金融機関に内定した学生の報告書では「授業でのSPIのほかにもう1冊自分で購入して繰り返し取り組んだ」とあります。たとえば手軽に試せるもので、学生就活情報サイト「マイナビ」がWeb上でSPIの模擬試験を計8回（7月～3月）、3年生を対象に実施（無料）しています。これに取り組みればかなり実力がつきます。



1、2年生から準備しよう

4年生になって「キャリア系の授業を一度も取っていない」学生がいました。職業観を養い、仕事をする意味を「大学生として」分かってもらうため「キャリアデザイン」の授業が設置されています。これまで「選択科目」だったためかその重要性が認識されていなかった点は残念なことでした。就職に必要な根本的な資質を身につけるため、シラバスをよく読んで科目の履修をしてください。

また、就職支援室では「インターンシップ」への参加を奨めています。インターンシップは企業や公共機関が「学生の仕事観を向上させたい」と担当者置き、仕事の時間を割いて無償で教えて頂ける場です。このような場を活用しない手はありません。幸いに昨年度と比較して本年度は経営学部、情報学部とも参加者が格段に増加しました。特にインターンシップ先を自己開拓する学生が増えたことは大変喜ばしいことです。また、アルバイトも非常に有効な自己向上の効果をもたらします。「仕事観」育成のため「積極的」に「一歩踏み出すか」が極めて大切であるということです。



7月22日 インターンシップ開始式

平成22年度 新任教員紹介



経営学部 柯 麗華 准教授

PROFILE

- ★出身地：中国アモイ市
- ★専門分野：流通論、マーケティング論
- ★趣味：旅行、映画・ドラマ鑑賞、バドミントン

中学生時代からバドミントンを始めてから現在も週1回のペースでやり続けています。社会人のリーグ戦にも毎年参加していますが、前半戦ではいつもリードしながら、後半戦でスタミナを切らして負けてしまいます。バドミントンを通して、多くの日本人と友達になり、日本人のスポーツに対する姿勢やマナーの良さに常に感じています。

静産大には、素直で明るく元気な学生が非常に多いと感じています。その明るく元気な若さを武器に、自分の目標をいち早く見つけ前へ突き進んで欲しいですね。ポジティブな志向で“I can do it”を信じ、大化けしましょう！



経営学部 金炯中(キム・ヒョンジュン) 常勤講師

PROFILE

- ★出身地：韓国光州市
- ★専門分野：グローバル・マーケティング論、マーケティング戦略論、広告論
- ★趣味：映画鑑賞、旅行

来日して10年間、ずっと忙しい東京で暮らしていましたが、今年4月にこちらに赴任してからは、磐田市でのゆったりとした生活を楽しんでいます。初めての登校日には、一度も会ったことのない学生の皆さんから挨拶をされて、真面目で素直な学生さんが多いのだと感激したことを覚えています。

学生の皆さんには、学生時代に色々なことを経験してもらいたいと思っています。私自身、日本への留学を決意するまでは、研究者とは全く違う世界で夢を追求め、思案に暮れる日々を送ったこともあります。しかし、今振り返ってみると、回り道のように見えたこともすべて貴重な経験であり、無駄なことは何ひとつ無かったと思います。若い時にはつつい近道を求めてしまい、回り道することを敬遠しがちですが、失敗を恐れず、狭き門でも必ず開くと信じ、夢に向かって前進して欲しいと思います。



経営学部 藤田 依久子 常勤講師

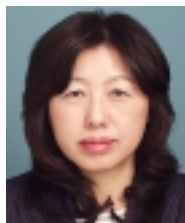
PROFILE

- ★出身地：東京都
- ★専門分野：社会心理学、医療社会学、臨床心理学、学習プロセスの心理学、メンタルトレーニング、カウンセリング
- ★趣味：スキー、読書、旅、古代泳法、野球、ラグビー、ヴァイオリン、音楽鑑賞、美術鑑賞、車

今年で静岡産業大学にお世話になって4年目になります。これまでコミュニケーションやリーダーシップといった社会心理学系の科目と教育心理学や学習心理学といった科目を担当して参りました。

私はドイツの大学に留学した時、周りに日本人がほとんどいないので、心細い思いをしたことがありました。その時は、周りの人達がみんな賢く見えて本当にこんな所でやっていけるのか、と思ったこともありました。

大学に入学して間もない皆さんも、大学生活に対して、期待する気持ちがあるものの、不安がいっぱいの状態でしょう。私の場合は、しばらくヨーロッパで過ごしてみて、ヨーロッパの人達も日本人とそれほど変わらないことがだんだんわかってきました。いや、むしろ日本人の優秀さを再確認することもありました。皆さんも自信を持って新しい環境で頑張ってください。

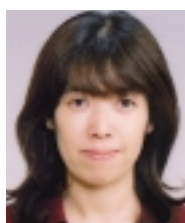


経営学部 齋藤 智世 特任講師

PROFILE

- ★出身地：静岡県浜松市中区
- ★専門分野：教育の情報化、情報教育、教育学
- ★趣味：美術鑑賞、音楽鑑賞。マイブームは和 문화です。

磐田キャンパスには自然とあいさつや声かけができるアットホームな雰囲気があり、いいなと思っています。情報社会を生きるには「情報活用能力-情報及び情報手段を主体的に選択し、活用していくための個人の基礎的な資質-」が必要です。今は誰もが情報の受け手(受信者)と同時に送り手(発信者)になります。ICT(情報通信技術)の使い方やマナーだけでなく、必要な資料を見つけ出す力、意味を早く読み取る力、読み・知ったことを整理する力、まとめる力、加工する力、新たな情報を作り出す力を身につけるお手伝いをしたいと思っています。



経営学部 石垣 美佳 特任講師

PROFILE

- ★出身地：愛知県名古屋
- ★専門分野：簿記会計
- ★趣味：旅行、絵画鑑賞、ショッピング

「SSUビジネス塾」という資格講座を担当していますが、年々、産大生の皆さんの資格に対する意欲が高まっていることを嬉しく感じています。私も、学生時代にいくつかの資格にチャレンジしました。その経験を踏まえ皆さんをサポートしていけたらと思っています。是非、「ビジネス塾」に飛び込んで来て下さい。そして、新たな可能性を見つけて下さい。



情報学部 渡邊 志 常勤講師

PROFILE

- ★出身地：焼津市
- ★専門分野：感性情報処理・情報システム・人間科学・情報教育
- ★趣味：音楽(演奏(指揮・打楽器)・鑑賞(オールジャンル))、鉄道(旅行・模型等々)、スポーツ鑑賞(やるのは苦手)、ドライブ、乱読…他多数。

高校・高専・大学と三校種・延べ10校で教員をしてきました。勤める学校は変わってきましたが、「ティーチングメソッド」の根幹は変わらないなあ、と思って日々の教育研究にあたっております。私の故郷、志太地区にある情報学部で仕事の出来る喜びを感じながら、学生の皆さんに有意義なキャンパスライフが提供できるよう、微力ながら尽くしていきたいと思っています。

本学が目指す「大化け教育」の大いなる達成のためには、教職員の努力はもとより、学生の皆さんの積極性が重要です。どうぞ積極的にキャンパスライフを送ってください！



情報学部 永田 奈央美 常勤講師

PROFILE

- ★出身地：静岡県牧之原市
- ★専門分野：教育学、e-Learning
- ★趣味：ストリートダンス、アロマテラピー

私は静岡県牧之原市で生まれ育ち、18歳の時上京しました。一度静岡を離れると、自然に囲まれた温かい環境と、ゆったりとした人々を懐かしく思うようになりました。

このたびは再び故郷に戻り、静岡産業大学のために貢献できる事を嬉しく思います。静岡産業大学の学生は、型に嵌ろうとせず、ユニークな発想を展開します。若さと活力が漲っており、輝かしく感じます。そんな学生には、自律的に学び、積極的に社会へ参加・適応する能力を身に付けて欲しいと願います。私はファシリテーターとしての責任を担っていききたいと思います。

韓国研修報告

情報学部 小谷内 郁宏教授

情報学部の学生10名(4年生5名、2年生5名)と引率2名(小谷内、大勝)の計12名は、9月12日～9月16日にかけて本学協定大学である韓国・大眞大学校訪問を含む4泊5日の韓国研修を行いました。この研修の目的は「アジア文化演習」という科目名のもと、韓国の世界文化遺産見学を主に、広くアジア文化に対する見識を深めることに狙いがあります。ソウル市内にある文化遺産、水原華城、昌徳宮、徳寿宮それに韓国民俗村を見ることで、私たち一行は古くからの文化交流による日本文化との類似性と同時に微妙な差異も感じることができました。離韓前日は、大眞大学校を訪問し、広大なキャンパスと授業の見学、日本学科学学生との交流、そして李総長との懇談会が行われ、実り多い一日を過ごすことができました。研修中、韓国の食文化も十分に堪能することができたことを付け加えます。



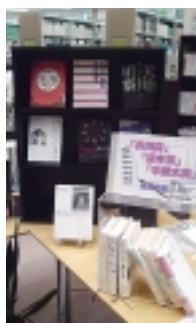
図書館通信 憩い空間

●図書館利用時間
平日9:00-18:30
(長期休暇中は9:00-17:00)
土曜日9:00-12:00

本屋さんイチ押しの本

芥川賞や直木賞など、本に関する賞はいろいろあります。今回は本屋大賞をご紹介します。「全国書店員が選んだいちばん売りたい本」をキャッチコピーにしたこの賞は、選考委員が書店員のみであることや、受賞作品が映画化・ドラマ化されることが多いのが特徴ですから、学生のみなさんにも馴染みやすいと思います。最新の受賞作品は、「天地明察」沖方刀(うぶかた とう)さんや「神様のカルテ」夏川草介(なつかわ そうすけ)さん。ちなみに、図書館職員がお勧めするのは「八朔の雪」高田郁(たかだ かおる)さん。時代小説好き・料理好きの方はぜひお読みください。

そしてこの夏、図書館は、静岡の大学生が選んだ文学賞「SHIZUOKA COLLEGE BOOK AWARD」に参加しました。投票してくださいました学生のみなさん、ありがとうございます。結果発表は11月の予定。受賞作は図書館で展示発表しますので、楽しみにしてください。



藤枝図書館
受賞作紹介コーナー

人事異動

●新任 職員

山本あゆ美 情報学部総務グループ(8月20日付)
浅井 綾乃 情報学部就職支援グループ(9月8日付)

●退職 職員

本間 文美 情報学部総務グループ(8月31日付)
加藤 明美 情報学部就職支援グループ(9月7日付)

アメリカ研修に参加して

経営学部スポーツ経営学科3年 仲俣 達也さん

9月7日から13日にかけてアメリカ・ロサンゼルスにて行われた海外スポーツ実習に参加しました。研修では、大リーグ観戦(イチロー・松井出場)やサッカー観戦(ベッカム出場)といったプロスポーツ観戦から、大学スポーツや少年フットボール、スポーツクラブの見学・レクチャーに至るまで、非常に幅広いスポーツの現場を肌で感じる事が出来ました。どの研修においても、実際に自分の目で見た日米のスポーツのあり方の違いにとても驚かされました。中でも、LAギャラクシーの本拠地見学・営業担当の方によるチーム経営のレクチャーはスポーツ経営を学ぶ私にとってはとても刺激になりました。今回のアメリカ研修は、文化の違いなども含め非常に多くのことを感じる事ができ、自身の視野を広げる素晴らしい経験となりました。



クラブ・サークル紹介 チアリーダー部(経営学部)



私たちは磐田キャンパスチアリーダー部「CandyDoll」です。2年生8名で週3回日々練習に励んでいます。経験者は1人しかいませんが、みんな踊ることが大好きです。昨年度後期にサークルから部に昇格し、浜松・三河フェニックスのキッズチアコーチでもある太田佳苗先生による指導を受けています。入学式・卒業式を初舞台として、校内で行われたモールドの除幕式などの学校行事に参加する他、男子・女子サッカー部の試合応援、ハーフタイムにはチアダンスを披露して会場を盛り上げています。私たちの活動によって大学全体がより活気づき、産大生に元気を与えると同時に、私たち自身もチアリーダーとして成長するようにこれからも頑張っていきます。

軽音楽部(情報学部)

こんにちは。軽音楽部です。僕たちは今年度よりサークルから部に昇格し、活動の場を増やすため、磐田キャンパスの軽音楽部と合同でライブを企画したりしています。後期は、鳳翔祭でのライブというビッグイベントを控えているので、日々練習に励んでいます。今後は多くの人たちに静岡産業大学情報学部の軽音楽部を知ってもらうために地域のイベントでライブなどもやっていきたいと思います。



平成22年度（前期） 特別教育奨励賞・学部学生表彰 表彰者紹介

（個人の部）

【経営学部】

<特別教育奨励賞>

- 梶田 雅功さん（経営学部4年）
片山佳乃江さん（経営学部4年）
大矢 幹さん（経営学部1年）
◆第64回全日本学生体操競技選手権大会個人出場
山下はるなさん（経営学部2年）
◆トランポリンワールドカップスイス大会出場
◆全日本学生トランポリン競技選手権大会個人Aクラス女子2位
◆全日本学生トランポリン競技選手権大会シンクロナイズドAクラス女子2位

- 板井真紀子さん（経営学部1年）
杉浦祥太郎さん（経営学部1年）
◆2010 インド・パシフィックトランポリン競技選手権大会出場
高田 雄三さん（経営学部4年）
◆IPC公認第21回日本身体障害者陸上競技選手権大会
MEN200mFINAL 4位、
MEN400mFINAL 4位
大谷 優美さん（経営学部4年）
◆第11回西日本バレーボール5学連男女選抜チーム対抗戦出場
寺田 玲子さん（経営学部3年）
左山 桃子さん（経営学部1年）
◆国民体育大会サッカー競技（成年女子）出場

- 坂中 慎吾さん（経営学部4年）
浜浦 祐貴さん（経営学部3年）
宿輪 幸治さん（経営学部1年）
◆全日本学生柔道体重別選手権大会出場
鈴木 雄さん（経営学部4年）
小川 悟さん（経営学部2年）
◆国民体育大会バレーボール競技（成年男子6人制）出場

【情報学部】

<特別教育奨励賞>

- 土屋 貴裕さん（情報学部4年）
星野 健二さん（情報学部4年）
◆国民体育大会バレーボール競技（成年男子6人制）出場
蔵田 岬さん（情報学部1年）
◆2010 インド・パシフィックトランポリン競技選手権大会出場

（団体の部）

【経営学部】

体操部

- ◆第64回全日本学生体操競技選手権大会団体出場

フットサルサークル

- ◆第6回全日本大学フットサル大会出場

トランポリン部

- ◆全日本学生トランポリン競技選手権大会団体競技Aクラス女子優勝

【情報学部】

男子バレーボール部

- ◆東海大学バレーボールリーグ「ベストサポート賞」受賞

後期 大学行事カレンダー

	経営学部	情報学部
10月11日（月）体育の日	ゼミナールガイダンス	月曜日通常授業
20日（水）		
23日（土）		入試（休講）*学内立入禁止
30日（土）		補講（AM）
11月 5日（金）		入試（休講）*学内立入禁止
6日（土）		入試*学内立入禁止
12日（金）	休講（蒼樹祭準備）	
13日（土）～14日（日）	蒼樹祭	
15日（月）	休講（蒼樹祭片付け）	
17日（水）	ミニ学内企業ガイダンス（3年生）	
19日（金）		休講（鳳翔祭準備）
20日（土）～21日（日）		鳳翔祭
22日（月）		休講（鳳翔祭片付け）
27日（金）	補講（AM）	補講（AM）、入試（PM）*学内立入禁止
12月11日（土）	冬季体育祭	
18日（土）		入試*学内立入禁止
25日（土）～1月6日（木）	冬季休講（授業開始1月7日）	
1月 7日（金）	卒業論文受付開始（～1月17日締切）	
14日（金）	休講（センター試験準備）*学内立入禁止	
15日（土）	センター試験*学内立入禁止	
16日（日）	センター試験*学内立入禁止	
17日（月）	後期授業終了	
18日（火）		基礎ゼミ（1年生） ゼミA・B登録（2年生） ゼミC・D・卒研発表会（3・4年生）
18日（火）～24日（月）	補講・定期試験	
19日（水）～25日（火）		補講期間
22日（土）		入試（AM）*学内立入禁止
25日（火）～31日（月）	定期試験	
26日（水）～31日（月）		定期試験
2月 1日（火）～ 2日（水）		入試（休講）*学内立入禁止
3日（木）～ 9日（水）		定期試験
10日（金）	学内合同企業ガイダンス（3年） 追試験申込締切	学内合同企業ガイダンス（3年）
14日（月）	7大学企業ガイダンス（3年）	
19日（土）		入試*学内立入禁止
21日（月）	成績発送（4年生） 履修ガイダンス（1年生） 履修ガイダンス（2年生） 履修ガイダンス（3年生）	成績発送
22日（火）	追試験	
23日（水）	追試験	
24日（木）	再試験申込締切	
25日（月）		
28日（月）～3月1日（火）		追試験・再試験
3月 2日（水）	追試験成績発送	
4日（金）	再試験	
6日（日）	学習・就職状況相談会（全学年）	
10日（木）	再試験成績発送	
11日（金）		
14日（月）	卒業式	
22日（火）～26日（土）	入試*学内立入禁止	
23日（水）	2011年度仮履修登録（Web）	
24日（木）		入試（AM）*学内立入禁止
30日（水）～31日（木）		在学生オリエンテーション

※詳細については各キャンパス教務のHPで確認してください。

UIプロジェクト経過報告

— 静岡産業大学の新しいシンボル・ロゴづくり —

「静岡産業大学」という大学名を聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか。昨年の秋に在学生、保護者、教職員に大学イメージ調査を実施し、同様の質問を行ったところ、「大化け教育」、「オバケスイッチ」、「オバケ」と回答した人が上位を占めました。

本学では昨年よりUI（ユニバーシティアイデンティティの略）プロジェクトを進めています。UIとは「何のために存在しているのか」という本学の存在意義を問い直すと同時に「これからどうあるべきか」という理念を整理し、学生、教職員、大学関係者がその認識を共有しながら活動していくことです。そこで、まずは本学の目指す方向を分かりやすい形にしたシンボルマークやロゴ等を開発し、2011年4月より新デザインを統一的使用して学内外に訴求する計画を立てています。

新デザインのコンセプトは「大化け教育」。今年の夏、学生、教員、職員から成る新デザイン検討委員とデザイナーが意見交換しながらデザインの開発や絞り込みを行いました。今後、UIプロジェクトチーム（理事長、学長、経営学部長、情報学部長、事務局長、センター長、入試広報課員）により新シンボルマークが選定され、来年4月のお披露目に向けて準備していきます。

在学生・保護者へのお知らせ

現在日本学生支援機構奨学金の
貸与を受けている皆さんへ

●1年生～3年生

次年度も引き続き貸与を希望する場合や奨学金の貸与を辞退する場合、インターネットを通して願いを提出する必要があります。詳しくは12月頃に掲示で案内します。

●4年生

奨学金の返還に係る重要な説明会を10月～11月頃に予定しています。詳しい日程は、掲示またはHPで案内します。必ず出席してください。